

●クリチバ治安情報（クリチバ市内へのUPS（パラナ保安部隊）の派遣）

7月18日及び8月4日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、パラナ州政府はクリチバ市の治安を改善するため、クリチバ工業地区内4箇所及びクリチバ市シティオ・セルカード地区内1箇所の計5箇所に対しUPS（パラナ保安部隊）を配置した旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1 クリチバ工業地区（第3，4，5及び6回目）

（1）7月17日早朝，軍警察，文民警察及び市警備で構成されるUPS計1，300人がクリチバ工業地区内4箇所（ヴィラ・ヴェルジ，サバラ，カイウア及びノサ・セニョーラ・ダ・ルス）への出動を開始した。同4区域（2，800Km²）には，クリチバ工業地区全体の人口の24%である約4万2千人が居住している。

（2）本年上半期，クリチバ工業地区において，クリチバ市全域で発生した殺人事件（304件）の17%に当たる52件の殺人事件が発生した。また，同上半期において，窃盗862件及び強盗835件の犯罪が発生しており，それぞれクリチバ市全体で発生した犯罪の4%及び6.5%に当たる。

（3）パラナ州公安局長によると，クリチバ工業地区における高犯罪率が今回の派遣の決定要因。同地区は，殺人率，麻薬密売及びクラックの使用頻度が高く，麻薬密売，殺人及び窃盗・強盗等の犯罪が，クリチバ市及び大都市圏の他地域に波及する原因の一つとなっている。

（4）今後数日間，警察官は，各区域の犯罪発生頻度により人員を配分し，不審車の検問，盗難車及び犯罪者に対する捜査活動を行う。配置済みのウベラバ地区（3月）及びパロリン地区（5月）におけるUPSの活躍同様，UPSの駐留により犯罪を撲滅し，UPSが地域に密着することを期待している。UPSは配置後，地域警察（軍警察第23大隊）へと徐々に移行する。パラナ州において，1地区のみを1大隊（中佐を指揮官とした警察官約500人）が専属的に管轄するのは今回が初である。

2 シチオ・セルカード地区（第7回目）

（1）8月3日，クリチバ市シチオ・セルカード地区（当館注：パラナ州公安局が発表した犯罪統計によると地区別殺人数ワースト2位）のヴィラ・オステルナッキ地域に対し，UPS（300人）が配置された。4年前，同地域において治安改善計画が実施され，一時犯罪件数が減少したものの，麻薬密売を要因とする強盗が増加し，右が地域住民の生活を脅かしており，今回のUPS導入が決定された。

（2）犯罪研究を行っている大学教授によると，都市部における治安維持活動は，大都市圏及び内陸部に犯罪を分散させる。また，犯罪を減少させるためには，防犯カメラの設置が不可欠である旨言及した。

（3）パラナ州社会学者によると，軍警察と住民の緊密化は，警察官が標的になることを避けるためにも重要である旨言及した。

(4) パラナ州公安局長は、同地区へ麻薬密売撲滅を目的として防犯カメラを設置する旨発表し、他のUPS常駐地域にも右を設置する旨約束した。

3 UPSの今後の展開

(1) パラナ州公安局長によると、UPSが派遣される地域には、警備強化だけでなく、自治体によるインフラ整備を行う必要がある。パラナ州内陸部の自治体から、UPS配置の依頼を受けるが、右を配置するに際しては自治体による地域社会を改善する政策（保育所の新設、街灯整備及び土地に関する公的書類整備等の支援）を同時に実施する必要がある。

(2) 今年中に、クリチバ市内の、計10箇所にUPSの常駐が予定されている（本年中残り3回）。パラナ州内陸部及びクリチバ大都市圏へは来年度の配置が予定されている。導入が検討されている自治体は以下のとおり。

ア パラナ州内陸部

- (ア) ロンドリーナ市
- (イ) ポンタ・グロッサ市
- (ウ) カスカベル市
- (エ) フォス・ド・イグアス市

イ クリチバ大都市圏内の殺人率がパラナ州平均と比べて高い自治体

- (ア) コロンボ市
- (イ) サン・ジョゼ・ドス・ピニャイス市
- (ウ) アラウカリア市
- (エ) ファゼンダ・リオ・グランデ市